

定額 一部金五銭 二部金十銭 郵費別五銭
廣告料 五銭以上 一組一行金五銭 拾行金十銭
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社

念珠の智識と由來功德

眞 繼 雲 山

實際に世上に行はれてをります多くの念じゆを見ますと、百八じゆには大抵母しゆが二つ附いてゐます。これは如何なる理由であるかと考へますに常識的な解釋としては一個の母珠だけでは、百八珠を二分することは出来ませぬから他の中央に中玉を加へて五十四位を表示した筈のものが漸次中玉の形が大きくなつて遂には母珠に等しくなつたものであらうと見られてゐます、けれども、これを通軌と認めることは出来ないもので正しき解釋としては百八珠に二母珠あるは五十四顆中品の念珠二連を合せたものだと云ふのでありまして、このことは興教大師金の沙汰にも五十四二連なりとあり、また行法肝要鈔といふ書物に『高雄口訣の二母珠念珠は（中略）五十四念珠の二連を一念珠となす』と記されてゐるに見ても知ることが出来ず。念じゆ一連には必ず母しゆを通して二線（日蓮宗用は片方が三線）の房が附いてゐます。この房に貫ねてある一段と小さな玉を俗に

弟子玉と申しますが正しくは記子と申し、それを止める位置にあるたまを記子留と申します。記子は素と數をとるために添へられたもので十個あるを通例としますが、宗旨によつて數は一定せずまた記子なくして房ばかりの念じゆもあり、百八じゆの念じゆに在いて母しゆが二つありと見ゆる場合何れが眞の母しゆであるか分らぬ如くであり、房の一方にのみ記子ある場合はその記子玉のある方を母しゆと見てよろしいのであります。記子玉が單に一方にのみ十顆ある場合は、これは修生の一邊を示し双方に十顆あるは本有と修生の兩邊を示したものと、その數を十顆としたのは十波羅密を表したものであります、その先に雨露の滴らんとする如き形の玉あるは即ち記子留でありまして、單に露と申します。五個または十個づつ二線の記子留ある場合はこれは福德智慧の二つを表したものと云はれます。また母しゆの下に別に一小じゆあるは、これを補處の弟子と申します。維摩居士と見る説もありますがたしか本據は分りません。母しゆより數へて左右七つ目と二十一目に形または色彩の違つたたまが四つあります。これを四天王と申します。四天王とは須彌山の中腹に位し、帝釋天の外臣といはれる東方の持國天王、南方の增長天王、西方の廣目天王、北方の多聞天王のことでありまして、何れも佛法を護り世を守護する役目をもつてゐるといはれます。眞言宗ではこの四天王のことを胎藏界八葉院の四隅の菩薩を表示したものと申します。その四隅の菩薩とは普賢、觀音、文じゆ、彌勒の四菩薩のことでありませぬ。

七、正しき念じゆとその材料
今日、在俗のお方で自ら念じゆをつくりたいといふのは餘ほど閑人が好事家でないかぎり普通には見られぬこととて、大抵は數珠屋から買ひ求める習はしであります。が、しかし専門の數珠師でないにせよ、如何なる念じゆが正しいか、どうして作つた念じゆを持つのがよいかといふことは佛教信者として一通り心得ておく必要がありませぬ。

是非！
御融通には御利用下さい
萬事便利な御相談に應じます
三井質店
平四・電六〇六番

有給外務社員數名募集
経験の有無、男女ヲ問ハズ奮闘家ヲ望ム
固定給ノ外旅費支給、希望者ハ履歴書持參午前中御來所ヲ乞フ
明治生命保險株式會社
平地方募集事務所
主任 小野勝康
（改長吉）
平町字仲町二四

景品付大賣出し
來る四月二十五日迄……
八圓以上御買上の方に置時計一ヶ進呈
致しませぬに 御買上の程御願ひ致します。
平町停車場通り
星野時計店

祝御入學
柔道着と剣道具 一切
新學期特賣四月一日ヨリ 四月三十日マデ
磐中、平商御兩校へ御目出度く御入學の諸兄及び御両親様へ御喜びの御言葉を申し上げます。
就いては必需品の柔道着剣道具は斯界に定評ある最優良品を御推し申上ります。
親切な製造に寄る岩崎製柔道衣を!!!丈夫な品質と廉價とを御批判下さい。
平町本通三丁目
電熱ほうじ茶 舖
大勝園茶舖
柔剣道具販賣部
電三九六番

地方擴張の爲
社員十數名募集
一、相當學力を有し紳士的奮闘家は來たれ
固定給外月收多大
二、但し希望者は午前中面談す
共保生命磐城監督所
福島健之
（今般都合に依り長橋町四七舊住宅へ轉居致しました）
磐城代理店 加藤丈夫
平代理店 金子直吉
磐城泉代理店 佐藤清治

店員募集
年令十五才以上希望者は至急御來所を乞ふ
△委細面談
平町銀冶町
牛久製菓所
電話三八七番

二丁目フクダヤの
雛人形大市
各産地の有名作品を集めて賑々しく陳列致しました。格安品も山積してあります。御一覽を願います
雛人形箱入三十五錢、御殿人形一圓三十錢、内裏雛一圓二十錢、十五人揃六圓五十錢、百圓迄各種

旭硝子株式會社製品
赤菱印
板ガラス
硝子 壺
硝子 食器
其他 各種
松崎硝子製作所
平町新川町（電話一四二番）
仙臺市榮町（電五九七番）

けさの震源地は 鹽屋崎沖合

平町が全滅と 東京方面の噂

平町地方を襲つた今晚四時十分の地震は近來にない強烈で未だ夢覚めやらぬ市民の魂を消し戸外に飛び出して戦いた向もあつたらしかつたが一般に特記すべき被害はなかつた模様であるが福島、東京地方では平町全滅豊間燈臺が倒潰したと傳へられたと小名濱測候所の観測を聞くと同所の地震計は震動四ミリ以上になると針が飛び出すので判然しないが

發震午前四時九分五十三秒 震動時間十二秒 性質 弱震の急、震源地小名濱北東八十三哩鹽屋崎北東七十里の海底太平洋外側地震帯の活動による斷層と推定

郡下兒童繪畫展

新緑の候磐中に於て

磐中では來月五日同校創立卅九回記念日に當るので運動會を開く外恒例により第四十二回X會繪畫展覽會を校内に開催し同時に郡下並に双葉郡一部小校兒童繪畫成績品展覽會を併せて催す事となつた出品物は尋六、尋三の學年より各五五五つ、で優秀校には奨勵賞賞状を兒童には個人賞を贈る筈で尙出品物は來月三日午後三時迄に搬入せられ度いと

磐中級長

本日決定す

磐中では此の程本年度各學年の正副級長を選擧し昨日の職員會に附し本日左の如く決定した

野亭、中澤登(四ノ四)堀深、佐藤政雄(四ノ五)佐藤忠一、東海林勇(五ノ一)山崎研治、香取良一(五ノ二)渡邊仁作、石田隆男(五ノ三)赤津作衛根本善一郎(五ノ四)加古位次郎、高階次郎(五ノ五)渡邊胤良、増尾克善

十八年の長日月

納税組合に貢献

新川町風間氏其他を表彰

平町では既記の如く來る十日の優良納税組合及び功勞管理者の表彰式を舉行するが當日表彰される組合管理者は左の如く五名で就中新川町風間福榮氏は大正六年以來十八年間に亘つて組合管理者として同組合の向上發展のために功勞を盡した人である

(一ノ一)諸橋富彌、石川四郎(一ノ二)鈴木木次郎菊地惟起(一ノ三)阿部俊一、上坂常磐(一ノ四)植村力夫、安齋光男(一ノ五)星野剛、星明(二ノ一)白土弘、伊藤茂(二ノ二)馬目一郎、阿部豊司(二ノ三)山崎道雄、北郷繁(二ノ四)根本忠雄、松崎徳明(二ノ五)橋本光雄、野木孝司(三ノ一)小松明生、鈴木洋三(三ノ二)山名光男、大原馨(三ノ三)志村憲助、和田壽夫(三ノ四)鈴木洋一郎、長瀬高行(三ノ五)北野正明、草苅建(四ノ一)大内二郎、吉田勇二(四ノ二)殿木隆之、太田正三(四ノ三)小

警女運動部

部員を決定

警城高等女學校運動部では愈々各種競技のシーズンも迫つたので新學年早々各競技部員を決定し数日前より放課後に練習を開始した

湯本愛婦で二百圓を

湯本愛國婦人會では過般より函館義捐金を募集中であつたが合計二百餘圓に達したので一兩日中に發送すると

千百圓突破

今六日平町役場に提出された各區の函館義捐金は左の如く仲間町、古研の兩區合計七十九圓三十五錢で累計一千四百四十四圓四十二錢となつた

練習開始

榮冠獲得を目指す

平第一小學校競走部は昨年警中主催で行はれた郡下小學兒童リレー競技會に出場惜しくも決勝戦に於いて内郷チームに敗れ第二位となつたので今年度こそ榮冠を獲得せんと早くも全校生より十餘名の選手を選抜二チームを編成して昨日より朝夕

第一校で募集

既報

平町人事

△正月町四 根本寛治氏五女ミサ子
△北目町一三 鈴木眞琴氏二女徳さん
△植田町宇立町山際國彪氏(二五)仲間町二六萩美佐子(二四)
△才植小路四 横澤孝雄氏(三一)秋田縣由利郡本莊町表尾崎町榎本ミヨ(二)

電話買受け度し

平町一丁目 丸屋足袋店

開店

いよ／＼ 明八日 開店
明るいスマイルな店となつてパンと……お菓子の店！
東京堂がイヨ／＼開店いたします

御土産は?

明日より三日間 開店披露のため御土産を差上げます。
御土産をおつれ下さいませ
平才植小路
東京堂
電話(呼出)二三三七番

産科 院長 木村寅次郎
婦人科 醫學博士 内木宗八
外科 藥劑師 立番彌一
平町新川町十九

入院隨意 病室完備
木村病院
電話一六四番

去月中の紹介

平職

軍事研究

平外三ヶ村の町二ヶ村の軍事研究幹事會は來る十一日午前十時から平署會議室で開く

去月中の紹介

平職
業紹介所で去月中に取扱つた紹介成績は求職男が百五人、女廿六人、計百卅一人、求人男が百廿八人、女二十三人、計百四十三人でその内就職したのは男廿二人、女四人、計二十六人であるが前月に比較すると求人三百廿一人、求職百名といづれも減じた

各辯護士起つて

無罪論を力説

破産法事件公判二日

人物を推賞す

平地方に於いて注目を集めた破産法違反事件の公判は昨日の如く昨日清田検事の辛辣な論告と求刑に續いて松野尾、磯部、稻本三辯護士の無罪論あり

本日午前十時半より開廷先づ井上氏の爲めに大嶺辯護士起ちて收賄贈賄の關係が法律上不可分一体なる所以を大審院の判例を讀んで説き起し色川、佐藤が賄賂の認識を欠いた理由に依つて

無罪であるとするれば當然井上も同様に無罪でなければならぬと斷し

問題の土地は植田庭身所有二筆、草野順平所有三筆を警銀が日銀に見歸り擔保に提供して特融を受けたものであつて警銀の破産財團には右土地の抵當権と債権とがその所有に歸して居るが土地そのものは組入れられてない従つて管財人には土地の處分権がないにも拘らず土地處分に介在し偶々多額の金高であるの故を以つて監査委員の同意請求

書を作製調印せしめた結果が後日井上に不利を醸す證據を残すことになつたのである

而して井上は漆畑、永井兩管財人に對し五十圓宛を暑中見舞に贈つた事を明らかに供述して居る、此点に於いて井上に罪ありとすれば兩管財人も

又罪を以つて問はるべきであるに拘らず兩人が免れて居るのは至高至平なるべき才判官の立場より多分管財人に職務執行の必要がないからとの御意嚮に基き不問に附されたものと推察する然るに井上のみが罪に問はるゝは

片手落ちにしてその意を得ないと力説して無罪を主張し井上氏が各種公職に着いて私心なく身清貧に甘んじて公共の爲めに盡瘁せる功を讀へ極力その人格を賞揚して此人の晩年を全ふせしめん爲めにも本件が犯罪を以つて問はるゝが如きは遺憾至極であると明快なる

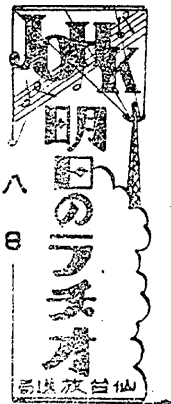
辯論を試み次いで千

葉辯護士も「井上氏は監査委員の肩書に依つて金を受けたものでなく又贈つた側もその肩書に對してでない事は被告等の供述に依つて明らかである」と前提し監査員の

職責を論じ本件の土地が破産財團に屬したものと認め得べき理なく且つ賣主が何人であるか記録の上に明瞭を欠いて居る、強いて云ひば日銀が賣つたが如く解釋出来るのであり然りとすれば井上は日銀への交渉所有者の調印土地の分割等に奔走した動きより見て勿論監査員としてその

職務を遂行したのでない事が明確である従つて贈收賄の罪が構成さるべき筈は毛頭ないとて各被告の心理状態等を説き最後に井上氏が不純の金を入手すべきが如き

人物に非らざる旨を論述し熱烈な無罪論を結ぶ午後十二時半休憩、午後より武田辯護士の辯論に移る(午後一時記)



明日の明日
報豫氣天
今晩は北西の風
明日は北東の風
晴曇半す

今晩の部
後六、〇〇 子供の時間
お話「歴史に現はれた櫻文學博士中村孝也」
後六、二五 講演「本邦化學工業發達史觀」工學博士井上仁吉
後七、三〇 時事解説
花の週間(第五日)
後八、〇〇 マイクロフオンローケーション「祇園の

明日の部
前九、一〇 榮養料理献立「牛肉と牛蒡の玉子とし」榮養研究所
前九、三〇 子供の時間

盲人教育十年

恩愛の教師去る

悲し見えぬ眼に涙の盲生

訓盲院教諭恩田氏榮轉

平町磐城訓盲院中等部教諭恩田平氏は今回埼玉縣立川越盲啞學校に榮轉明八日赴任の筈であるが同院生徒四十名は七日午前十時から同氏のために心からなる送別會を催しその行を盛んにしたが恩田教諭は大正十三年東京盲學校師範科を卒業するや直ちに同院に奉職爾來十年間一日の如く寢食を忘れて不具の身を鞭打つて自分と同じ物見ぬ兒童の教育の爲に献身的努力を續けてきた人だけに今迄同氏の薫陶をうけた生徒達は明かぬ眼をしばたいてゐたが同氏も亦手をとる育くんで來た教へ兒と別れ難いのか相擁して別離の涙にくれる劇的光景を現出した

旅客も激増した

貨物取扱に驚異的増收を續けてゐる平驛では旅客收入にも亦黒字を示し花見時の浮き立つ雜沓を一句の後に控へて今や春の前奏曲の快調に浸つてゐる即ち去月中旬の同驛統計によれば出札三萬四千九百九十人、收入二萬三千三百三十四圓二十七錢で昨年同月の三萬二千五百四十五人、二萬二百七十七圓五十二錢に比較して二千四百五十四人、三千百十六圓七十五錢の増加である尙降車人員も三萬三千七百二十八人で前年より二千二百九十六人を増してゐる小荷

カーニバル子供大(二天王寺動物園より中継)
前二、四〇 講演「印度大震災に關して日本全國民に訴ふ」候爵大隈信常
前二、〇〇 趣味講座「傳説の佐夜の中」杉本良
前二、四〇 東京大學野球聯盟神宮より中継
後〇、五〇 (滿洲より) 少年少女の午後(花祭り)
後一、二〇 花祭り(第一節) 花祭り聯合大會(日比谷公園より中継)
後一、五〇 ラヂオドラマ「聖誕 佛教女子青年會」
後二、一〇 第二節(少年少女の爲めに) 讚佛歌

大正大學日曜學校生徒
後二、二〇 お話「花祭り」西村隆信
後二、三五 兒童劇「樵兵衛狸と狩人」西福寺兒童學園
後二、五五 「花祭りの歌」大阪佛教團みのり會
後六、〇〇 子供の時間 物語「吹雪」 奥田安彦
花の週間(第六日)
後七、三〇 春と花の歌謡曲 陽山光三郎 唄川幸子
後八、〇〇 講談「嵐山の花」寶井琴陵
後八、三〇 新内「藤蔭戀の棚」富士松春太夫
後九、〇〇 常磐津「家櫻廓掛額」常磐津長尾太夫

高瀨勝男個人展

平町高瀨勝男氏は勝男氏は來る九日から三日間に至つて平町マルトモホールに於て個人展覽會を開會するが出品三十數点であると

花見のトップ

記者團觀櫻宴

在平日刊記者團では今年の觀櫻會のトップを切つて來る十日松ヶ岡公園で花見の宴を開く

怨みの放火

豫審が終結

双葉郡津島村字休石開墾地内遠藤吉藏(五七)が本年一月廿六日夜浪江町字權理堂製炭業今野泰方に放火せる事件は過般來平支部にて荒井

磐女修學旅行

では本月廿四日より廿八日迄に四年生百五十餘名が東京、鎌倉、京都、奈良、宇治、山田方面へ四泊五日間の修學旅行する事となり本日夫々保護者宛に通知した

回人を求める方

- △出前持 二十才 尋卒
- △五六圓
- △炊事婦 三十位委細面談
- △回職を求めの方
- △土工夫 五十二才 尋卒
- △給料面談
- △小使 二十七才 尋五修
- △給料面談
- △職工 二十九才 尋卒
- △給料面談
- △米穀店員 十八才 中三
- △修了 給料面談
- △表具見習 十八才 水産
- △校卒 給料面談



(禁脚敷上及上流)

田邊南龍(作)
山本英春(書)

『ウム勢州村正能く斬るれ
わい』
血を拭つて鞘に納め玄關
には掛らず、内知つたる家
の事ゆゑ、庭傳ひに奥の座
敷、まだ雨戸の閉めてない
のを幸ひ躍り込んで見ると
助太夫は之から寢所に入ら
うといふ處權八の姿を見し
『夫に參つたのは平井の伴
ではないか、如何に懇易の
間とは申せ案内も乞はずに
立入るとは無禮であらう』
『云ふなツ、無禮といふは
助太夫其方の事だぞ能くも
本日御殿に於て拙者の父を
恥しめたな、父は忠孝の道
を思つて勘忍したが此の權
八は我慢がならん、恨みの
一刀受ろ』
と抜き打に斬り附けた受け
るも引くも出来ない。肩先
より乳の下掛けて斬り下げ
られ助太夫は血煙立て、倒
れました。

只ならぬ物音に何事かと
本庄の家來が来て見ると主
人の助太夫は血に染まつて
倒れ、其の傍らに平井權八
が血刀を提げて立つてゐる
から大きに驚いて
『ヤア大變主人の一大事で
ございます』
と呶鳴つた。權八面倒と
思つたから其の儘庭へ

出すと血刀を拭つてゐる間
もなく松の大木へスル／＼
と駈上り塀を跳り越へて何
處へか婆を消して了つた。
助太夫の伴助七、助八の兄
弟手槍を取つて追かけたが



遂に姿を見失つたから齒ぎ
しりして口惜がり何れ己が
家に立戻つたに違ひない引
捉へて父の無念を晴さんけ
れば相成らんと、兄弟が先
立ちで若黨四五名夫に従ひ
平井の屋敷へ乗込んで来て
玄關前へ立上り

『ヤイ權八へ出ろ尋常の
勝負をしろ、逃げ隠れるす
とは卑怯だ』
『權八を出せ』
『權八出ろ』
と口々に罵つてをります
父の庄左衛門は何事かと思
つて夫へ出て參り
『之は何誰かと心得たら本
庄の御兄弟、餘りと申さば
無禮ではござらぬか、拙者
も馬一頭槍一筋の武士、眞
槍又は抜刀にて屋敷内へ踏
こまれるといふは其の意を

得ん先づ其の仔細を云はれ
よ』
『仔細は定めし知つてをら
うが尋ねるならば云つて聞
かせる、汝の伴權八只今我
が家へ忍び入り父助太夫を
討つて遂電したるわ、定め
し奥に隠れ、らふ早々之

へ呼び出して我々と尋常の
勝負をさせろ』
庄左衛門も事の意外に驚
き
『さて、夫は不屈きの伴
權八、實は木日御殿に於て
御身等の父助太夫殿、拙者
對して失禮を申された而し
拙者は忠孝の道を思へばこ
そ堪へ忍び、伴權八に教訓
したる處、彼れ若年にして
前後の分別もなく御身等の
父を討果したと相見えるが
何れへか遂電致したと見へ
て未だ歸宅は仕らん、御不
審に思はれるはら家内をお
探しなさるとも苦しいない
又某も縁に繋がる身の上な
れば權八の代りと思召して
勝負をお望み遊ばすならば
決して否みは仕らん、勿論
家來共に手出しなどは致さ
せ申さん、某も武士自分の
意趣を果さんとなれば小伴
などを名代に差出しは致さ
ん、拙者の潔白を宜しくお
認め願ひたい』

看護婦急派
の求めに應
じます

平町南町

平看護婦會
電話三〇七番

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院

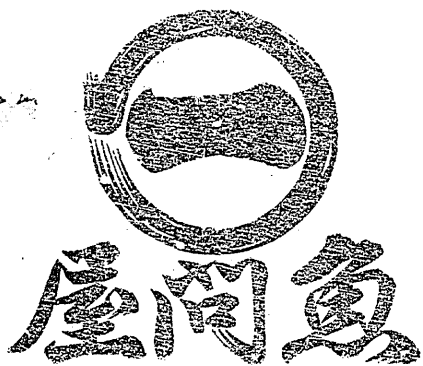
平町南町
電一七〇番

美味！ 芳醇！ 宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

小店員數名募集
年齢十五才ヨリ壓
優遇
御希望ノ方ハ午後一時
ヨリ本人御來談下サイ
平町田町一七
レストランサロン
電話三五二番

御土産には
ほしやなぎ
いかの鹽から
鱈の子



最優最大日本生命平代理店
志賀盛榮
(三一二電)目丁四平

ヒナ人形

三月雛人形御道具類
特價大賣出し

例年之通り人形及御道具類並に高級御殿等豊富に
取揃へ陳列いたしました、當店は元來御客様本意
主義を以て大勉強いたします。
是非御用命の程御待ちいたします。

平町三丁目日本通り
落花生問屋
叶・加藤商店

現代人形 古代人形其他各種
豊富に取揃へました
是非御來覽御用命を願ひます

スガノヤ提灯店
際物部

平四。電話九十五番

湯殿山教會長伊藤重善氏神葬祭ノ
節ハ御遠路ノ處御拜來下サレ且ツ
御厚志ヲ賜リ難有御禮申上候一々
拜趨御禮申述ノ處乍略儀以書中御
厚志申上候
四月七日
平町六間門
三山宗敬教會事務所